

ウェルビーイング広報・行動変容促進業務の実施にあたって

現状・課題と、それに対して実施すべきこと（当課のミッション）

「ウェルビーイング」という『言葉』の県民認知度は着実に向上しているが、『言葉の意味』の浸透には未だ課題がある。

⇒ 特設サイトでの当課取組紹介・流入対策を継続するとともに、新たなコンテンツを通じて

身近な例を交えウェルビーイングを発信し、県民の腹落ち、ひいては意識や行動の変化へと繋げていく必要がある。



県民への直接的なアプローチだけでは浸透に限界。

県民を取り巻く「環境」にもアプローチする必要があるのではないか？

そのため、誰に影響を与え、変化を生み出していくのか？

多くの県民が所属し、一日の多くの時間を過ごす、職場（企業等）を通してウェルビーイングの浸透を図る

経営においてウェルビーイングを意識※する企業が増えており（経済同友会も「ウェルビーイング小委員会」を設置）、
商工労働部とも連携しながら、経営者だけでなく、社会を支えるボリュームゾーンである従業員へも拡げていく

※企業の持続性確保の観点。幸福度の高い社員は生産性、創造性が高く、離職率が低いという研究結果もある

(参考) 当課等で実施する県民参加型事業等のスケジュール

10月	復興支援ロゲイニング（仮称）@氷見市（10/20予定）
12月	集まれ！高校生 ウェルビーイング・ロゲイニング（仮称）@富山市（12/21予定）
1月	ウェルビーイング・コミュニティ東京イベント（予定）
2月	高志の国文学館絵手紙展（2/22～3/17）
3月	①ウェルビーイング・コミュニティ富山イベント（予定） ②若手社会人・卒業間近の学生向けロゲイニング（仮称）@富山市（予定） ③国際幸福デー・WB特設サイト2周年（3/20）